

キラリと光るダイセル製品のお得情報が満載！
キラきら情報通信@ダイセル

「オープンセミナー」 開催致します！



毎年恒例！1月開催 ダイセルカラムオープンセミナー

あなたもキラルカラムマスターになれるかも！？

ダイセルでは、毎年1月にオープンセミナーを開催しております。
2020年は1月10日(金)開催です。

このセミナーでは

- ・キラルカラムでの効率的な条件の見つけ方
- ・困った際にも慌てない！トラブルシューティング
- ・ダイセルのアクラルカラムの画期的な分離例

を中心にご紹介いたします。

こんな人に受講してほしい！

- キラルカラムでの条件設定にいつも悩まされている…
- 新しく分析担当になったので、キラルカラムも条件設定を基礎から詳しく知りたい
- 最適化の方法を教えてほしい！
- 研究室で一番のキラルカラムマスターになりたい！

これを受講すれば
オレもキラルカラムマスターだ…

2020年1月10日(金)開催オープンセミナー詳細は
キラきら情報通信12月号にて！



あなたのそのトラブルも解決できるかも!?

ダイセル カラム“あるある” 第3話



「分析の度に、溶出時間が長くなる」編

今月で3回目のダイセル カラム“あるある”でございます。
何卒、お付き合いのほど、お願い申し上げます。

当社多糖系キラルカラムでは、開発当初からヘキサン/アルコール系順相条件が多用されております。
なぜか?という質問はさておき、ヘキサン系特有の“あるある”を一つ、ご紹介いたします。

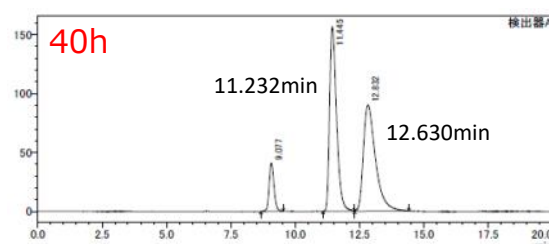
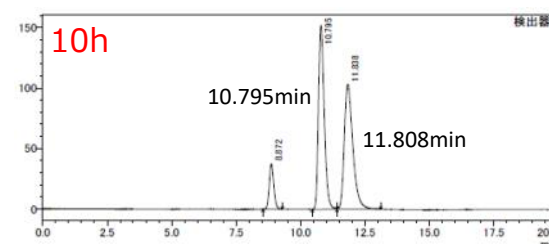
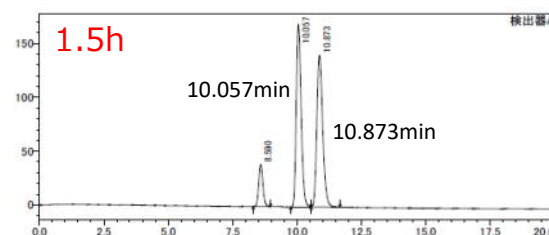
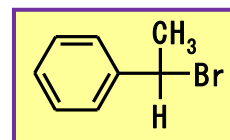
多糖誘導体との相互作用が極端に弱いキラル化合物を分離する場合、アルコール等の極性溶剤を数%まで減らす、極端な場合にはヘキサン単独移動相を使用する、というのは、既によくご存知のことと思います。そこで気をつけたいのは**ヘキサン単独移動相を使用する場合**です。

当社カラムのコンディショニング時間は、15分～30分程度、長くても1時間を超えることは、まずございません。しかし**ヘキサン単独移動相では、10時間以上たっても溶出時間が安定しない、ということ**があるのでございます。

これはカラム内に**極々わずかに残留する極性溶剤**が抜けきらず、その影響が大きいために起きるのだと考えております。まず、こんなことが起きるといふことと、**微量(例えば0.05%)でも2-プロパノール等を移動相に加えると**安定した結果が得られやすいこと、を知っていただき、ぜひみなさまもお試しいただければと思います。

今月の一首

「今月の あるあるだけに あるコール 僅かな量でもあるといい」
お粗末様でございました。



カラム	CHIRALPAK AY-H
移動相	Hex. = 100%
サンプル	1-Bromoethylbenzene
打ち込み量	5μL
流速	0.5mL/min
温度	25℃
測定波長	254nm

発行元: 株式会社ダイセル CPIカンパニー

〔東京〕 〒108-8230 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル

TEL: 03-6711-8222 FAX: 03-6711-8228

〔大阪〕 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB

TEL: 06-7639-7221 FAX: 06-7639-7228

ヘルプデスク フリーダイヤル: 0120-780-104

HP: <https://www.daicelchiral.com/>